

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------|-----|--------------|
| ○事業所名 | どんぐりの里 児童発達支援 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和6年 12月 9日 | | 令和6年 12月 27日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 21名 | (回答者数) 17名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和6年 12月 9日 | | 令和6年 12月 27日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6名 | (回答者数) 5名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 1月 28日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 幅広いプログラムの実施。 | 静と動を意識したプログラム編成や積極的に地域に出て過ごすことを行っており、将来を見据えた支援を行っている。 | 地域の幼稚園などと併用して利用する子どもが増えているため、互いに経験したことが活かせるような活動を増やしていく。 |
| 2 | 家族支援の充実。 | 保護者向けの講演会や食の相談会、放課後等デイサービスと合同プログラムなどを実施し、保護者同士のつながりを作るきっかけとしたり様々な情報を得たり聞いたりできるようにしている。 | 保護者からも興味のある話や子どもと一緒にしてみたいことを聞きながら、講演会やプログラムに反映させていく。 |
| 3 | 施設内および法人内に多種多様なサービスがあり、継続的な支援が可能。 | 合同プログラムや行事など放課後等デイサービスの職員や利用児と関わる機会を設けている。 | 放課後等デイサービスに限らず、異なるサービスや年齢の方と関わる機会を設け、関わりの幅を広げていく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 子どもが併用している幼稚園と安定した情報共有や行き来をさらに増やしていきたい。 | 保護者から様子を聞いていることもあり、定期的な連絡が取れていない。 | こちらから働きかけていくことで意識を変え、些細なことでも共有できたり一緒に考えたりできるような連携や協力体制を整え強化していく。 |
| 2 | 家族支援の拡大。 | 保護者など大人にフォーカスした活動が多く、兄弟も参加しているものもあるが深く関わっていない。 | 保護者だけでなく子どもを取り巻く環境にいる兄弟や祖父母などにも重点を置き検討していく。 |
| 3 | より支援の向上を図るため、第三者の方に意見やアドバイスをいただく。 | 現状事業所内で検討し解決できているため、タイミングを失っている。 | 第三者の方に依頼し、見学や助言をいただく機会を検討する。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | どんぐりの里 | | | | | 公表日 | 令和7年 2月 3日 | | | | |
|----------------------------------|--------|---|---------------|-----|-------|-----|---|--|----|--|--|
| | | | | | 利用児童数 | 21 | | 回収数 | 17 | | |
| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 94% | 6% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・広い部屋で走り回っている。 ・スペースもゆったりしているので、遊びやすいと思います。 ・広々とした空間で子供たちが過ごしている。 ・のびのびとみんな過ごしている。 ・余裕をもってスペースが確保されています。 | 継続する。 | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 94% | 6% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・見守りもしっかりされていて安全だと思います。 ・常にみんなに目が届いていて安心してお願いできる。 ・昔は今より職員が多かったと聞いた。 ・目が行き届く人数だと思います。 | 継続する。 | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・危ないものは全く目につかないようになっていると思う。 ・部屋の作りも考えられていると思います。 ・わかりやすい環境で配慮された構造になっています。 | 今後も子どもの状況や様子に応じて検討し整えていく。 | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 100 | 0 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・日当たりも良く心地いいです。 ・食事も別室でよいと思う。 ・いつもきれいにされているので安心です。 ・きちんと活動する部屋、食事をする部屋が分かれていて清潔。 ・床はピカピカで活動も合っている空間と思う。 ・清潔感があり、活動しやすい空間だと思います。 | 継続して環境整備を行っていく。 | | | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 82% | 12% | 6% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・今、本人が苦手なことを理解し、支援していただけていると思う。(多動、切り替え等) ・経験があるからこそ、この障害はこうだと決めている気もする。 ・理解していただいているおかげで安心して過ごさせています。 ・体の発達について見てくれている。 ・こどもの発達に合わない行き過ぎた指導があった。 ・深く理解され、本人に合った支援が受けられています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員間での共通認識を確認しながら、その都度振り返りや話し合いを行い、支援を行っていく。 | | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 88% | 12% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・内容も合っているので、子どもも喜んでしています。 ・合っていると思います。 | 継続する。 | | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。 | 94% | 6% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・親の願い、子の思いを聞いていただけるのでありがたいです。 ・課題に合った計画が作成されています。 | 継続して保護者へのアセスメントシートや聞き取り、子どもとの関わりを総合的に検討し作成を行う。 | | | |
| | 8 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 88% | 0% | 0% | 12% | <ul style="list-style-type: none"> ・専門分野でない親である私にも分かりやすく説明をさせていただいて、ありがとうございます。 ・適切な項目、支援内容がしっかり設定されています。 | 継続する。 | | | |
| | 9 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 94% | 6% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・支援のおかげで成長した姿が見ることができました。 ・支援は計画に沿ったものになっています。 | 今後も職員間での共通認識のもと支援を行う。 | | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 94% | 0% | 6% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・色々なプログラムが工夫されていると思います。 ・色々な季節に応じたイベントやプログラムが組み込まれている。 ・色々な活動が組まれている。 ・多彩なプログラムで固定化されないよう非常に工夫されています。 | 継続する。 | | | |

| | | | | | | | | |
|----------|----------------------------|--|------|-----|-----|---|---|--|
| | 11 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 70% | 6% | 12% | 12% | <ul style="list-style-type: none"> ・最近通所が始まったので交流があるのか分かりません。 ・交流がもう少しあればと思うときもありました。 ・幼稚園にも通っている。 ・まだ登園間もないので分からない。 ・まだ機会がない。 ・把握しておらずわかりません。 | 児童センターや子育てひろばなどへ行き地域の子どもたちと関わる機会は設けているため今後も継続して実施しながら、その他の場所での交流も検討していく。 |
| 保護者への説明等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・説明もしていただきありがとうございます。 ・しっかり説明を受けています。 | 継続する。 |
| | 13 | 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・説明も分かりやすくできてありがたいです。 ・計画に基づいて説明されています。 | 継続する。 |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 88% | 0% | 0% | 12% | <ul style="list-style-type: none"> ・悩みも聞いていただけるのでありがたいです。 ・勉強できる機会が設けられています。 | 継続して実施しながら、分野や対象者を広げていけるよう検討する。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 88% | 6% | 6% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、今日の活動にどのように取り組めたのか丁寧に教えていただいています。 ・報告書だけの時も多々ある。 ・いつも分かりやすく様子を教えていただいているのでありがたいです。 ・毎日、その日にあった事を伝えてくれて相談したらすぐに取り組んでくれる。 ・こどもの言動に対して保護者と理解がズレている。 ・日常的に状況を共有できていると思います。 | 保護者が持つ思いや考えを受け止めながら、支援者側の思いや意図もより丁寧に分かりやすく説明し気持ちをすり合わせていく。 |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 88 | 12 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスをいただけるので助かります。 ・個人的な話しこまった面談はないが、コミュニケーションはとりやすい環境。 ・必要なタイミングで支援を受けられていると思います。 | 日々コミュニケーションを図りながら、個別懇談などの機会を継続して実施していく。 |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 82% | 12% | 6% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・いつも相談にのっていただきありがとうございます。 ・1人1人に目を向けていてしっかりされていると思う。 ・障がいの子どもを持つ親に対してショックな発言があった。 ・親身に支援していただいていると思います。 | 伝え方にはより細心の注意を図り、支援方法についても意図や説明をより分かりやすい表現で行うように心がける。 |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 64% | 12% | 6% | 18% | <ul style="list-style-type: none"> ・まだ参加はしたことがないですが、機会があれば是非参加したいと思います。 ・機会がなかったのではあればいいなと思いました。 ・まだ参加した事がない。 ・保護者が交流できる機会が設けられています。 | 家族(きょうだい含む)参加型のプログラムや茶話会、同じ施設や法人内の放課後等デイサービスの利用児・保護者と合同プログラムを実施し、交流の場を設けていることを説明し周知してもらいながら、今後も継続していききょうだいにも焦点を当て検討していく。 |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 82 | 6 | 0 | 12 | <ul style="list-style-type: none"> ・登園時、降園時に質問する時間が十分にあるので助かっています。 ・困った事も気軽に相談できるのでありがたいです。 ・困った事、気になる事を相談するとすぐに対応してくれている。 ・必要に応じて相談できる体制があり、適切に対応されています。 | 説明を行い周知を促す。 |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 88% | 6% | 6% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートがあるのでこちらの伝えたいことを文字で伝えることができありがたいです。 ・分かりやすく説明していただいているので安心してます。 ・日誌に細やかに1日の様子をきさいされてわかりやすい。 ・視覚支援が少ない。 ・配慮されています。 | 当施設の方針や子どもたちの状況を説明し、全てにおいて意図や理由があることを伝えていく。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 94% | 0% | 0% | 6% | <ul style="list-style-type: none"> ・予約管理が携帯でできるのが嬉しい。 ・ホームページを見て、丁寧な感じが分かります。 ・定期的にわかりやすく情報を発信されています。 | 継続する。 |
| 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・説明も丁寧にいただいているので安心です。 ・写真禁止にしたりしてネットに個人写真が出ないようにしてくれている。 ・されていると思います。 | 継続して保護者の意向を確認し、配慮していく。 | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|-----|-----|----|-----|--|--|
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 82% | 6% | 6% | 6% | <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルもきちんとされているので親も安心してお願いできます。 ・対応について説明されています。 | 策定および訓練の実施は行っているが、周知が行き届いていないものもあるため、説明するとともに室内に掲示したり目に入る場所に置いたりすることを検討する。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 82% | 6% | 0% | 12% | <ul style="list-style-type: none"> ・訓練も子どもが取り組みやすいように工夫があるとします。 ・避難訓練や散歩コースに避難場所コースにしている。 ・訓練が行われています。 | 避難訓練（災害に応じた身の守り方を知る、避難場所まで歩くなど）の実施は行っているものの、その日に利用していない子どもがいるため、頻度を増やすことを検討する。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いませんか。 | 94% | 0% | 0% | 6% | <ul style="list-style-type: none"> ・訓練もきちんとされているので、子どもも安心して過ごせていると思います。 ・安全についての配慮がされていると思います。 | 説明を行い周知を促す。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いませんか。 | 88% | 0% | 0% | 12% | <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に対応していただいているのでこちらも安心です。 ・今まで怪我などありません。 ・小さなことでもごまめに説明してくださっています。 | 説明を行い周知を促す。 |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 94% | 0% | 0% | 6% | <ul style="list-style-type: none"> ・1度も泣くことなく車に乗ってくれています。 ・喜んでいる姿を見て親も安心していきます。 ・先生方を「大好き」と言って信頼している様子。 ・毎日楽しそうに通所している。 ・子どもにとって安心できる場所になっています。 | 継続する。 |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 88% | 12% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・まだ理解はしていない様ですが、通所に行き渋りは見られません。 ・まれに帰宅後泣き止まない事があります。登園は嫌がらないのでその理由を観察する時があります。 ・その日を迎えるのをいつも楽しみにしています。 ・今日の行事を伝えると、楽しそうに通所している。 ・いつもプログラムを確認して楽しみにしています。 | 継続する。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 88% | 12% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・いろんなプログラムがあり、親の私も活動を楽しみにしています。 ・いつも子どもの事を考えていただき、ありがとうございます。 ・楽しんで行けているので満足。 ・支援のおかげでできる事が増えたり、1日の流れのリズムができたりとても満足している。 ・行き届いた支援に満足・感謝しています。 | より向上を図れるよう検討していく。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | どんぐりの里 | | 公表日 令和7年 2月 3日 | | | |
|---------|--------|--|----------------|---------|--|---|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 100% | 0% | ・広い部屋で体を動かせるスペースとゆっくりおもちゃで遊べるスペースに分けている。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 100% | 0% | ・適切である。また、現場の状況（怪我、不安定など）によって、他の部署の職員が手伝いに入ってくれることもあり、連携も取れていると思う。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 100% | 0% | ・イラストや写真を用いるなど視覚支援を取り入れている。 ・子ども1人1人にマークを決め、ロッカーの場所や自分の持ち物が分かりやすいようにし、自分でできることを増やせるようにしている。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 100% | 0% | ・日々掃除や消毒を実施している。 ・活動に合わせて環境設定を行い、安全に活動できるよう務めている。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 80% | 20% | ・必要に応じてクールダウンを行える部屋が確保できている。 | ・部門内ではできているが、他部門との共有・工夫が必要だと思う。 ・他の部屋を使用している場合は少し困るかなと思います。 ・使用する可能性がある際は、その都度朝礼などで全体に伝え互いに情報を共有していく。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 100% | 0% | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100% | 0% | ・アンケートは毎年実施しており、職員間で意見を共有し話し合いを行っている。 | ・必要に応じてきた意見に対し対応をする必要がある。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100% | 0% | ・日々振り返りや支援について共有している。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 100% | 0% | | ・外部評価を行う頻度が低いので、適宜実施を検討していく。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 100% | 0% | ・研修に参加した際は報告書を作成やフィードバックを行い、職員間で共有している。 | |
| 適切な | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 100% | 0% | ・ホームページに記載している。 | ・もう少し周知を促していく。 |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 100% | 0% | ・半期に1度実施している。 | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成するには、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 100% | 0% | ・計画作成に伴い会議を実施し、状況把握や課題検討をみんなで計画に反映している。 | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 100% | 0% | ・計画作成後は職員間で回覧し、共通認識の基支援を行っている。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 100% | 0% | | ・定期的に行えるよう検討および実施を行う。 |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 100% | 0% | | |

| | | | | | | |
|--|--|--|------|-----|---|---|
| 支 援 の 提 供 | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 100% | 0% | ・行事ごとに計画し、都度反省を行っている。利用時に合わせて活動時間も工夫している。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 100% | 0% | ・季節の行事や地域に出て過ごすことなども多く取り入れている。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 100% | 0% | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 100% | 0% | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 100% | 0% | ・きょうだい放課後等デイサービスを利用している場合は、朝のミーティングでも共有を行い、多方面からフォローできるようにしている。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 100% | 0% | ・活動の様子だけでなく、他機関との連携状況や保護者から得た情報なども記録している。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 100% | 0% | | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 100% | 0% | ・可能な場合は複数で参加し、より多くの意見や情報共有ができるようにしている。 | ・様々な職員が参加し経験を積むことで、育成を図る。 |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 100% | 0% | ・今期は幼稚園にも支援に行くことができた。 | ・安定した連携が図れるよう、関係を構築していく必要がある。 |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 100% | 0% | ・まだまだ課題はあるが、相互に見学したり会議を行ったりすることができている。 | ・安定した連携が図れるよう、関係を構築していく必要がある。 |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 100% | 0% | ・必要な子に対して連携支援を行っている。 | |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 40% | 60% | | ・子どもの様子を見学に来られたが、こちらが行くことはできていないため、実際に支援を見せていただきたい。 |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 100% | 0% | ・公園や児童センターなどにも行くことができた。 ・児童センターに行った際は地域の子どもたちと一緒に活動（ダンスやサーキット）や自由遊びもでき、どんぐりの友達以外と遊びを通して交流することができた。 | ・公園や児童センターに行く目的に地域の子どもたちと交流するということも含まれていることがなかなか伝わっていないため、より丁寧に伝えていく。 |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 100% | 0% | | ・丁寧に話を行っている意図が伝わりにくいこともあるため、確認しながら気持ちのすり合わせを行っている。 |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 100% | 0% | | | |
| 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 100% | 0% | | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|------|----|---|---|
| 保護者への説明等 | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 100% | 0% | | |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 100% | 0% | | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 100% | 0% | ・普段よりよく会話することで相談しやすい雰囲気を作り、常に保護者さんたちに寄り添えるよう心がけている。 | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 100% | 0% | ・講演会や懇親会も実施できてよかった。 ・法人の強みを活かし、放課後等デイサービスなど他部門の保護者と関わる機会を設け、様々な話やアドバイスを聞くことで将来的なイメージがもてるようにしている。 | ・保護者だけでなくきょうだいや祖父母など様々な方に対する支援や交流の場を検討していく。 |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 100% | 0% | | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 100% | 0% | | ・おたよりが主となっているため、その他の情報ツールも検討、実施していく。 |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 100% | 0% | | |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 100% | 0% | ・必要に応じて口頭と紙面で情報をお伝えしている。 | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 100% | 0% | | ・交流の場を広げられるよう検討する。 |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 100% | 0% | | |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 100% | 0% | ・避難訓練は子どもに分かりやすいよう、紙芝居を作成し伝えている。 | ・災害時に必要な備品の確認など定期的に確認し、更新していく必要がある。 |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 100% | 0% | | |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 100% | 0% | ・現在はアレルギー食のある子どもは利用していないが、特別食（刻み食、離乳食）は対応している。 ・管理栄養士とその都度連携し、子どもたちの喫食状況を確認している。 | |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 100% | 0% | | |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 100% | 0% | | ・保護者理解に差があるため、より丁寧にお話をして理解につなげたい。 |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 100% | 0% | | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 100% | 0% | | |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 100% | 0% | | ・子どもの状況に応じて見直していくようにする。 | |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------------------------|-----|----------------|
| ○事業所名 | 社会福祉法人あいむ どんぐりの里 放課後等デイサービス | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和6年 12月 9日 | | ～ 令和6年 12月 27日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 45名 | (回答者数) 22名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和6年 12月 9日 | | ～ 令和6年 12月 27日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 3名 | (回答者数) 3名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 1月 28日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | ・幅広いプログラムの実施。 | ・広い居家で運動遊びや、工作など様々なプログラムを実施。 ・積極的に地域に出て、社会体験を行っている。 | ・今後も継続、集団活動を通して多くの体験できる場を提供していく。 |
| 2 | ・家族支援の充実 | ・月一度の親子参加プログラム(山登り)を実施している。季節の行事でお化け屋敷遊びや、BBQなど定期的に親子、家族で参加できるプログラムを実施している。利用者から毎回高評を頂いている。 | ・今後も継続し、利用者からの意見を取り入れ、反映させていく |
| 3 | ・法人内に多種多様なサービスがあり、継続的な支援が可能。 ・法人内、他事業所と合同で療育に取り組める。 | ・合同プログラムや行事などで児童発達支援や他の放課後等デイサービスの職員や利用児と関わる機会を設けている。 | ・今後も法人内に限らず、様々な多種多様なサービスと関わる機会を設け、関りの幅を広げていく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | ・地域交流の拡大 | ・地域サッカークラブや社会参加事業との交流はあるが、不定期で交流している。 | ・今後は人脈などを活用し、様々な事業所と合同で開催し積極的に地域交流を増やしていきたい。 |
| 2 | ・家族支援の拡大 | ・家族参加でも親子にフォーカスした活動が多い状況で、きょうだいも参加しているが深くは関わっていない。 | 親子だけでなく、利用者を取り巻く環境にいる兄弟や祖父母などにも重点を置き検討していく。 |
| 3 | より支援の向上を図るために第三者の方に意見やアセスメントをいただく | ・現状事業所内で検討し解決できているため、タイミングを失っている。 | ・第三者の方に依頼し、見学や助言をいただく機会を検討する |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | | どんぐりの里 | | 公表日 | | 令和7年2月3日 | | |
|--------------------------------------|--|---|------|---------------|-----|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------|
| | | 利用児童数 年月日 | | | | 回収数 | | |
| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 91% | 5% | 4% | 0% | ・余裕をもってスペースが確保されている | ・継続していく |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 91% | 9% | 0% | 0% | ・子どもたちに目が行き届く配置数だと思います。 | ・継続していく |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 86% | 9% | 0% | 5% | ・必要に応じてエレベータの利用もできる | ・引き続き適切な対応を行う |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 91% | 5% | 0% | 4% | ・清潔感がある | ・引き続き職員全員で意識して取り組む |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 95% | 5% | 0% | 0% | ・特性に応じた支援をしてもらえる | ・引き続き適切な支援を行う |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | | ・継続していく |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 95% | 0% | 0% | 5% | ・課題やニーズにしっかり沿った計画が立てられています。 | ・継続していく |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 91% | 0% | 0% | 9% | ・とても具体的に子どもに必要な支援の内容が設定されています。 | ・今後も維持し、改善点があれば見直し対応していく |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 91% | 5% | 0% | 4% | ・支援が計画に沿って行われています | ・継続していく |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 95% | 0% | 0% | 5% | ・プログラムが多岐にわたり楽しめる工夫がある | ・継続していく |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 36% | 5% | 5% | 54% | ・サッカー教室での交流を楽しみにしている | ・今後も出来る範囲で交流の機会を増やす |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 86% | 0% | 0% | 14% | ・それぞれの項目についてしっかりと説明されています | ・継続していく |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 77% | 14% | 5% | 4% | ・支援がしっかりと計画に沿って行われています。 | 継続して丁寧に説明を行っていく |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 59% | 9% | 5% | 27% | ・とても勉強になる機会を設けて頂いています。 | ・出来る範囲で継続していく |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 95% | 5% | 0% | 0% | ・送迎時の引継ぎの際に話をして共通理解を図ることができる | ・今後も維持し、改善点があれば見直し対応を行う |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 55% | 18% | 9% | 18% | ・必要に応じて助言頂いています。 | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 86% | 9% | 5% | 0% | ・気になること困ったことを相談しやすい | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。 | 55% | 18% | 0% | 27% | ・毎月のお手紙で知らせてくれる | |
| 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 19% | 10% | 0% | 1% | ・トイレトレーニングでの情報共有をすくに行い丁寧に対応してくれた | | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|------|-----|----|-----|-------------------------------------|------------------|
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 91% | 5% | 0% | 5% | ・配慮ある意思疎通がなされています。 | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 59% | 0% | 0% | 41% | ・日々の活動や必要な情報について定期的にわかりやすく発信されています。 | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 86% | 10% | 0% | 4% | ・管理をしっかりとしてくれる | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 91% | 5% | 0% | 5% | | 見直し、改善があれば検討していく |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 59% | 0% | 0% | 41% | ・定期的に行われており安心している | 見直し、改善があれば検討していく |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 82% | 5% | 0% | 13% | ・周知されています | 見直し、改善があれば検討していく |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 82% | 0% | 0% | 18% | ・転んだり他児との衝突など小さなことにも報告してくれる | 見直し、改善があれば検討していく |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 95% | 5% | 0% | 0% | ・子どもは準備を楽しみにしている | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 95% | 5% | 0% | 0% | ・多様なプログラムをいつも楽しみにしている | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | ・多面的に支援して頂き満足している。 | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | どんぐりの里 | | 公表日 | | 令和7年 2月 3日 | |
|---------|----|--|------|-----|--|----------------------------|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 100% | 0% | ・広い居室で体を動かすスペース、ゆっくり過ごすスペースと分けて過ごすことができる | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | 100% | 0% | ・適切である | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 66% | 34% | | ・AEDの設置がない | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 100% | 0% | ・日々清掃や消毒を実施している。 ・活動に合わせて環境設定を行い、安全に活動できるように務めている | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 100% | 0% | ・今後も継続 | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 100% | 0% | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100% | 0% | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100% | 0% | ・日々、職員間で意見交換して支援や活動に取り組んでいる。 | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 100% | 0% | | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 100% | 0% | ・研修案内を回覧し、自ら申し込めるようにしている。 | | |
| 適切な支援の提 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 100% | 0% | ・HP記載。 ・作成段階から職員間で共有 | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 100% | 0% | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 100% | 0% | | ・継続していく | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 100% | 0% | | ・今後も継続し、改善点があれば見直し対応していく。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 100% | 0% | | ・今後も継続し、改善点があれば見直し対応していく。 | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 100% | 0% | | ・今後も継続し、改善点があれば見直し対応していく。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 100% | 0% | ・職員間で相談をし、立案できている。 | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 100% | 0% | | ・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|------|-----|--|----------------------------|
| 供 | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 100% | 0% | ・集団、個別で楽しめるように行っている。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 100% | 0% | ・短い時間でも共有をしている。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 100% | 0% | ・細かな変化や様子、相談などの記録を取り、振り返りなどに活用している。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 100% | 0% | ・職員間で密に利用児の成長、変化について話し合っている。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 100% | 0% | ・職員間で密に利用児の成長、変化について話し合っている。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 100% | 0% | | ・今後も、維持し改善点があれば見直し、対応していく。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 100% | 0% | | ・今後も、維持し改善点があれば見直し、対応していく。 |
| | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 100% | 0% | | ・今後も、維持し改善点があれば見直し、対応していく。 |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 100% | 0% | ・保護者を通して、医療の服薬の調整や様子を聞き健康記録をつけ支援している。 ・関係機関には必要に応じて担当者会議を行っている。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 100% | 0% | | ・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 100% | 0% | ・朝のミーティング等を通し情報共有に努めている。 ・児童発達支援事業所と密に連携が図れている | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 100% | 0% | | ・密に連携を図りながら情報提供を行っている |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 100% | 0% | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 100% | 0% | ・月1度のサッカー教室などで地域の子どもたちと活動する機会がある。 | ・状況を見て、活動機会を増やす検討もする。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 64% | 36% | | 自立支援協議会の周知を行い、参加を促していく。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 100% | 0% | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 100% | 0% | ・必要に応じてペアトレーニングという取り組みがあること情報提供している。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 100% | 0% | | ・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。 |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 100% | 0% | ・迎えや送迎時にやり取りを行い、意向を確認する機会は日常的に設けている。 ・アセスメントを行っている。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 100% | 0% | | ・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。 |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 100% | 0% | | ・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。 |

| | | | | | | |
|----------|--|--|------|--|--|----------------------------|
| 保護者への説明等 | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 100% | 0% | ・月一度の親子参加プログラム(山登り)を開催している。 ・不定期で親子参加プログラムも開催している | |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 100% | 0% | | ・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。 |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 100% | 0% | | ・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 100% | 0% | | ・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。 |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 100% | 0% | | ・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。 |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 100% | 0% | | ・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 100% | 0% | | ・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 100% | 0% | | ・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 100% | 0% | | ・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。 |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 100% | 0% | ・保護者を通して対応している | ・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 100% | 0% | | ・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。 |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 100% | 0% | | ・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 100% | 0% | ・作成、周知を徹底し、再発防止に努めている。 | ・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 100% | 0% | ・研修報告を周知している。 | ・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。 |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 100% | 0% | ・身体拘束適正委員会を定期的に開催している。利用者に十分に説明を行っている。 | ・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。 | |